情報BOX
Mihama Information

美浜町役場
〒919-1192　美浜町郷市25-25
☎　0770-32-1111(代表)
FAX　0770-32-1115(代表)
HP　https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/

お知らせ

「女性の人権ホットライン」強化週間のお知らせ

11月13日から全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間として、電話相談の開設時間を拡大します。

職場でのいじめやストーカー、セクシュアル・ハラスメント等について、一人で悩まず相談してください。

●相談窓口
0570-070-810
●期間　11月13日(水)～19日(火)
●受付時間
(平日)午前8時30分～午後7時
(土日祝)午前10時～午後5時

問　福井地方法務局・福井県人権擁護委員連合会
☎0776-22-4210

メディアコントロールデーにご協力ください

幼児期から小学校、中学校の時期は脳をはじめ、体の各器官が成長する大切な時期です。この時期にメディアに依存しすぎるとさまざまな害悪が生じることが報告されています。

メディアコントロールデーとは、長時間接することの多いテレビやスマホ、ゲーム等から少し離れた生活をして、メディア依存症にならないために、子どもたちの心を穏やかな心にリセットするための取り組みです。そこでできた時間をゆとりの時間として各家庭でうまく活用してほしいと思います。

この取り組みは、人権教育研究会生活指導部会が主体となって、保育園と小・中学校で実施します。

実施日に限らず、常にメディアをコントロールする工夫を考えてみてください。

●実施日　11月18日(月)～21日(木)

問　人権教育研究会生活指導部会(担当・髙木)☎32-1670



農地の転用には許可が必要です

●農地転用とは
農地を住宅用地や資材置き場、駐車場等、農地以外の用途に転用することです。自分の農地であっても、農地法の許可が必要(※)となります。

※農業振興地域農用地区域内の農地は原則不許可となります。

●許可を受けずに転用すると
農地を許可なく転用した場合や、転用許可に係る事業計画通りに転用していない場合等は、農地法に違反することとなり、工事の中止や原状回復等の命令がなされるほか、場合によっては3年以下の懲役または300万円以下の罰金(法人の場合は1億円以下の罰金)が科せられます。

●農地を転用したいときは
農地転用の許可申請は、農業委員会事務局で受け付けています。転用についての手続きや疑問等がありましたら、まずは農業委員会事務局にご相談ください。

問　町産業政策課(担当・大道)☎32-6706

福井県最低賃金改正のお知らせ

10月5日から、県内で働くすべての労働者とその使用者に適用されます。

●時間額　984円

問　福井労働局労働基準部賃金室
☎0776-22-2691

お子さまの教育資金を「国の教育ローン」がサポートします

「国の教育ローン」は、高校、短大、大学、専修学校、各種学校や外国の高校、大学等に入学・在学するお子さまをお持ちのご家庭を対象とした公的な融資制度です。

●ご融資額
お子さま1人につき
350万円以内
●金　利　年利2.40%
※母子家庭の方等は、年2%(令和6年9月10日現在)
●ご返済期間
18年以内
●ホームページ
「国の教育ローン」で検索

問　教育ローンコールセンター
☎0570-008656
(ナビダイヤル)
または03-5321-8656

11月から12月は県下統一滞納整理推進月間です

県と市町が、税の徴収率の向上や新規滞納の未然防止を図ることを目的に、税の滞納者への滞納処分や催告、納税に関する広報活動等を集中的に実施します。

問　県総務部税務課納税推進室
☎0776-20-0515
町税務課(担当・藤村)
☎32-6702

申告・納税と一緒に日々の業務もデジタル化しませんか？

税務手続きだけではなく、経理等日々の業務も一貫してデジタル化することにより、単純誤りの防止による正確性の向上や事務の効率化につながるとともに、リモートワークへの対応・ペーパーレス化・データ連携による生産性向上・リアルタイムでの経営分析等さまざまなメリットが期待されます。

経理等、日々の業務のデジタル化のツールとして、クラウド会計ソフトやデジタルインボイスがあり、これらのITツールの導入に当たっては、IT導入補助金等の支援制度があります。詳しくは、国税庁ホームページ「事業者向けデジタル化の取組・ツールのご紹介」をご覧ください。



年末調整や確定申告は、マイナンバーカードを使って自動入力しましょう

マイナンバーカードを使ってマイナポータルと連携することで、控除証明書等の必要書類のデータを一括取得し、各種申告書の該当項目へ自動入力することができ、控除証明書等の集計や1件ずつ入力する手間が不要になります。詳しくは、国税庁ホームページ「マイナポータル連携特設ページ」をご覧ください。

詳細はこちら

納税が、私たちの生きる「未来」につながる

https://www.nta.go.jp
税を考える週間

国税庁

※お問い合わせ先　敦賀税務署総務課　☎0770-22-9265



防災情報伝達システムを用いた全国一斉の

緊急情報の伝達試験を実施します

～緊急地震速報・Jアラートの訓練放送～

■緊急地震速報訓練

実施日時	情報伝達手段	放送内容
11月5日(火) 午前10時頃	屋外スピーカー 戸別受信機	屋外スピーカー　＜チャイム＞　戸別受信機　＜サイレン＞ 「これは、試験配信です。緊急地震速報。大地震です。大地震です。」 屋外スピーカー＜チャイム＞
	防災アプリ 町ホームページ	＜訓練＞緊急地震速報 緊急地震速報。大地震です。大地震です。(推定震度5弱)

■全国瞬時警報システム全国一斉情報伝達試験(Jアラート)

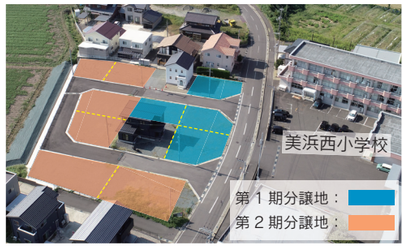
実施日時	情報伝達手段	放送内容
11月20日(水) 午前11時頃	屋外スピーカー	＜国民保護サイレン＞ 「これは、Jアラートのテストです。」(3回)

※当日は、美浜町以外の地域でも、全国一斉に伝達試験が実施されます。

※お問い合わせ先　町エネルギー政策課 危機管理対策室(担当・橋本) ☎32-6716

美浜西小学校前宅地分譲地の販売のお知らせ

町では、人口減少対策として、若者や子育て世代に魅力のある住宅分譲地を整備しています。



□1期分譲(6区画)　4区画分譲中
募集期間：令和6年12月20日まで(申込み状況に応じて延長します)

□2期分譲(6区画)　令和6年11月　分譲開始予定
分譲価格等の詳細は、今後広報みはまや町ホームページ等でお知らせします。

※お問い合わせ先　町まちづくり推進課(担当・久木)　☎32－6701

募集・申請等

JR小浜線利用促進助成をご利用ください



町では、JR小浜線の利用促進を図るため、団体旅行を実施された方や学生、高齢者等に対し、費用助成を実施しています。

■助成内容

助成事業名	対象者	助成額	限度額
団体旅行助成 (8人以上で構成する団体が、同じ行程をもとに鉄道を利用した普通団体旅行)	・町内に住所を有する者	団体割引後 運賃の5分の1	1人あたり 片道400円
学生団体等の助成	・町内の保育園児・小学生・中学生の団体(随行者含む)	小浜線区間の 運賃全額	なし
シニア利用者等の助成	・町内に住所を有する満65歳以上で、町税等の滞納がない者 (その他助成との併用不可)	乗車券の 3分の1	1回の購入につき 1,000円/人

■申請方法

1. 申請書に必要事項を記入の上、JR美浜駅窓口にて切符の購入証明印を受けてください。
　※申請書は美浜駅または町まちづくり推進課で入手できます。
2. 証明後20日以内に、申請書をJR美浜駅にご提出ください。
　※シニア利用者助成は、運転免許証または健康保険証の写しを添付してください。

町ホームページ

※お問い合わせ先　町まちづくり推進課(担当・南)　☎32－6701

木造住宅の耐震診断と補強プラン作成を補助します!

町では、昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅の耐震診断及び補強プラン作成費用の一部を補助します。

□ **募集件数**　3件　(先着順)
□ **個人負担**　一戸あたり 10,000円
□ **申込方法**　町土木建築課へ申込書を提出

※申込書は、町ホームページまたは　町土木建築課にあります。
※申込書締め切りは、11月29日(金)までとなります。

耐震診断
大地震での倒壊の可能性を判定する診断

補強プラン
耐震診断の結果に基づき、具体的な補強方法、概算の工事費用について提案を行うもの

美浜町木造住宅耐震診断等促進事業　検索

※お問い合わせ先　町土木建築課(担当・山口)　☎32－6707

教室・講座・説明会等

美浜町子ども・子育てサポートセンターの催しをお知らせします

○育児講座
「ことばについておしえて」
●日　時　11月12日(火)
午前10時30分～11時
●場　所　はあとぴあ
けんこうひろば
●対　象　町内在住の在宅児親子
●定　員　10組
●申込み　10月28日(月)～11月11日(月)

○育児講座
「骨盤底筋ケア」
●日　時　11月19日(火)
午前10時30分～11時15分
●場　所　はあとぴあ
けんこうひろば
●対　象　町内在住の在宅児親子
●定　員　10組
●申込み　11月5日(火)～18日(月)

(問)町子ども・子育てサポートセンター(担当・濵野)
☎32－0192

介護入門研修会&ふくい福祉就職フェアの日程が変更となります

10月号でお知らせした「介護入門研修会&ふくい福祉就職フェア」の日程が変更となりました。詳しくは次のとおりです。

●日　時　11月23日(土・祝)
午前10時15分～午後4時
●会　場　はあとぴあ
●参加料　無料
●その他
詳細は、広報みはま10月号または、二次元コードからご確認ください。

介護入門研修はこちら
就職フェアはこちら

(問)県社会福祉協議会 嶺南支所
☎0770－52－7833

おちゃっとサロン 韓国に参加しませんか

●日　時　11月23日(土・祝)
午前10時15分～午後4時
●場　所　県国際交流嶺南センター(敦賀市)
●講　師　韓国東海市職員　チェ ホジン氏
●内　容　韓国文化の紹介
(観光・料理・ハングル等)
●定　員　20人(要申込、先着順)
●参加費　100円
(韓国のりのお土産付き)
●申込方法　電話、県国際交流協会ホームページまたは来所してお申し込みください。

(問)(公財)県国際交流協会
県国際交流センター
☎0770－21－3455

支え合い活動交流会を開催します

●日　時　11月19日(火)
午後1時30分～3時30分
●場　所　はあとぴあ　会議室1
●内　容　地域の支え合い活動の推進について
●講　師　公益財団法人　さわやか福祉財団
高橋　望氏
●対　象　地域で活動を行っている方や福祉活動に興味・関心のある方、これから活動したいと考えている方等

(問)町健康福祉課(担当・植中)
☎32－6704

ひきこもり相談会を開催します

町では、ひきこもり等の悩みを相談できる相談会を開催します。悩みごとやちょっと話を聞いてほしいこと等がありましたら、ぜひこの場をご活用ください。

●日　時
11月14日(木)
①午後1時30分～2時30分
②午後2時30分～3時30分
③午後6時30分～7時30分
④午後7時30分～8時30分
※いずれかの時間をお選びください。
なお、③・④は事前予約のみ対応です。
●場　所　はあとぴあ　会議室3
●相談方法
①来所による面談
②電話
③オンライン
※①～③のいずれかでご連絡をお願いします。
●対　象　どなたでも
●費　用　無料
●申　込　事前予約が必要ですが、空きがあれば当日受付もできます。
↑申込はこちら
●その他
①②の時間帯は県ひきこもり支援コーディネーターや社会福祉士等、③④の時間帯は社会福祉士や保健師等が対応します。
相談内容等の秘密は厳守しますので安心してご相談ください。

(問)町健康福祉課(担当・中村)
☎32－6704

美浜発電所の状況について



美浜発電所3号機の原子炉を手動停止

10月5日、定格熱出力一定運転中の美浜3号機において、巡視点検中の運転員が、1次冷却水クーラ（※1）の海水系統戻り母管（※2）3系統（A、B、C）のうち、C系統母管の2箇所に塩の析出があることを確認しました。

その後、10日に当該配管の肉厚を測定したところ、直径約3㎜と約6㎜の微小な穴が見つかり、その周辺に配管の減肉が確認されました。このため、関西電力㈱は15日に美浜3号機を停止し、原因調査を行っています。

なお、今回の事象が発生した箇所については、1次冷却材ポンプ等の機器の冷却水と熱交換する海水系統であり、放射性物質を含む系統ではないことから、環境への放射能影響はありません。

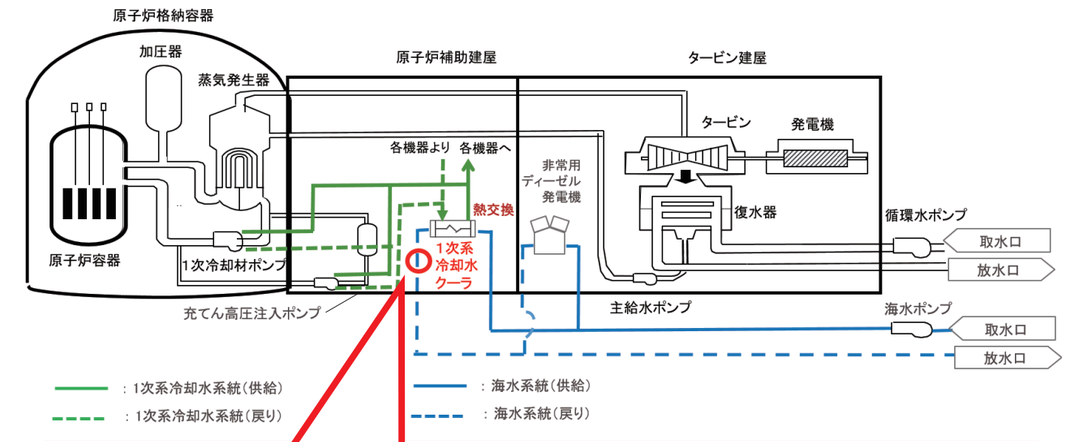
本事象の報告を受け戸嶋町長は、関西電力に対して原因調査の徹底を指示するとともに、速やかに再発防止対策を講じ、社内でしっかりと水平展開するよう求めました。

町としては、引き続き、事業者の対応を確認してまいります。

※1 1次系のポンプやモーター等で発生した熱を除去するための冷却水を海水により冷却する機器

※2 1次冷却水クーラ出口から海水を海へ放出する配管

事象発生箇所



第221回美浜町原子力環境安全監視委員会を開催

10月3日に、第221回美浜町原子力環境安全監視委員会を町役場で開催しました。

今回の委員会では、事務局から、発電所の周辺環境への影響等に関する福井県原子力環境安全管理協議会の報告内容を説明しました。

その後、関西電力㈱から美浜発電所の状況や使用済燃料乾式貯蔵施設の設置に係る国への申請状況、青森県六ケ所村の再処理工場の竣工延期に伴う使用済燃料対策ロードマップの見直し等について報告を受けました。

委員会での関西電力㈱との主な質疑は、次のとおりです。



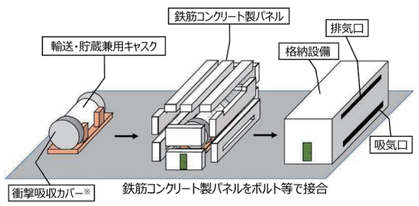
↑第221回美浜町原子力環境安全監視委員会

使用済燃料乾式貯蔵施設について

問 使用済燃料乾式貯蔵施設について保管する輸送・貯蔵兼用キャスクは、個別に格納する方式を採用している。地震や竜巻、飛来物の衝突等による影響を考え、全体を覆う建屋があった方が良いのではないか。

答 さまざまな方式があるなかで、発電所の限られたスペースをいかに効率よく活用し、安全性が確保できるかを検討した結果、個別に格納する方式を採用した。

○輸送・貯蔵兼用キャスクの設置方法



※ 落下等のトラブルがあったとしてもキャスクの閉じ込め機能を確実に確保するために設置

<格納設備の主な仕様>

材質	鉄筋コンクリート
寸法	幅：約6m、長さ：約9m、高さ：約5m

使用済燃料対策　ロードマップについて

問 先日、知事と関西電力の森社長が面談し、ロードマップ見直しに係る報告がなされた。その中で、ロードマップの見直しがうまくいかなかった場合、40年超の発電所は停止するという発言があり、非常に憤りを感じている。地元をどう考えているのか。

答 原子力発電所の運営は、地元の皆様のご理解があってのものと考えている。そのうえで使用済燃料対策について、昨年10月にロードマップを示してから1年経たないうちに見直しとなったことを重く受け止め、最大限の決意をもって取り組むという発言だと受け止めていただきたい。

プルトニウムの利用について

問 プルトニウムを含むMOX燃料を使用する高速増殖炉もんじゅは廃炉となっている。現在は、プルサーマル発電で少しずつプルトニウムを利用している状況だと思うが、関西電力の発電所でMOX燃料をどれだけ消費できているのか。

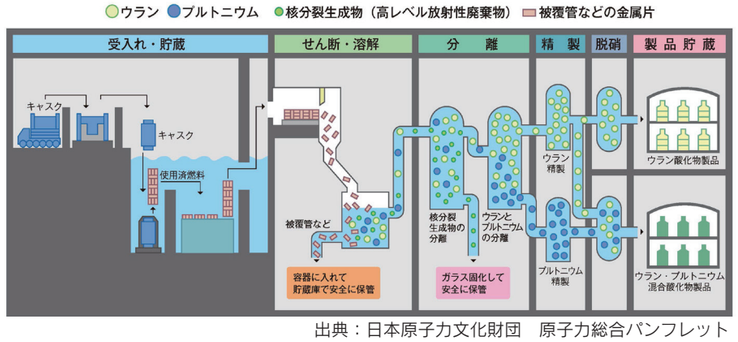
答 高浜3・4号機でMOX燃料を調達できた際は、約0.7tの燃料を装荷している。3・4号機双方に装荷できる場合は、年間約1.4tのMOX燃料を消費している。

再処理工場について

問 これまでの再処理工場竣工延期をみると、本当に日本で再処理が可能なのか疑問であり、事業者としての見解を伺いたい。

答 再処理工場については、平成18年から試運転を行っており、その中で実際に燃料のせん断・分離等全体の試験は完了している。技術的に再処理できるが、福島第一原子力発電所の事故を受けて策定された新規制基準への対応が課題となっている。我々としてもしっかりと支援して対応していく。

【再処理の行程】



出典：日本原子力文化財団　原子力総合パンフレット